

3月 みどり

5~12ページはみどり区版です

もくじ contents

- 特集1 いつもの備えが命を守る! 5
- 特集2 みどり「ひとまち」スクールで学びときめく! 6, 7
- よりどりみどり情報 8, 9
- 保健だより 10
- 施設から 10, 11
- シリーズ「教えて! みんなのチャレンジ!」ほか 12

特集1 いつもの備えが命を守る!

東日本大震災の発災から、この3月で5年が経ちます。東日本大震災では、交通や通信網のまひなど、これまで経験したことのない災害の恐ろしさに直面しました。発災時に備えて、区民一人ひとりが小さな取組を進めることは、地域の大きな防災力へとつながります。緑区での活動などを通じて、防災・減災のために自分に何ができるのか、考えてみましょう。



避難所の運営を助けている人を紹介します

震災時の指定避難場所になる地域防災拠点では、発災時を想定し、さまざまな訓練をしています。



【横山 仁士さん】

私は上山小学校の地域防災拠点訓練に毎年参加し、避難者の受け入れから炊き出し、簡易トイレの組み立て、要支援者の安全確認などを行っています。発災時は避難者全員での助け合いが必要となります。訓練に参加することで顔の見える関係もつくることができます。

大地震はいつ発生するか分かりません。ぜひ一緒に訓練へ参加して大地震に備えましょう。



▲上山小学校拠点訓練でのトイレ設置訓練

【岩田 悦子さん】

森の台小学校の訓練に毎回参加しています。当初は「共助って何をするの? そんな私が防災訓練に参加して大丈夫?」といった不安がありました。訓練に参加したらすぐに解消しました。普段はなかなか顔を合わせることがない自治会の役員さんとも顔見知りになりました。また、日頃の備えや備蓄品の大切さを実感することができました。



▲森の台小学校拠点訓練での炊き出し訓練

備えましょう

こんな取組をお勧めします



- 最低3日分の備蓄品をそろえましょう
 - ・水(1人1日3ℓが目安)
 - ・食料(インスタント食品、缶詰などの保存食)
 - ・トイレバック(1人1日5個が目安)
- ラジオや懐中電灯は予備電池を、携帯電話は充電器を
- 各個人で必要になるもの(眼鏡、常備薬、マスク、タオルなど)
- 女性は、生理用品、美容用品など
- 赤ちゃんがいる場合は、粉ミルク、ほ乳びん、離乳食、紙おむつ、おしりふき、着替えなど
- 高齢者は、紙おむつ、常備薬(3~5日分)、杖、湿布、サポーターなど
- 職場にスニーカーや自宅までの地図などを置いておくと、歩いて帰るときに便利です

避難所の通信を支えている人を紹介します

横浜市アマチュア無線非常通信協会緑区支部は、横浜市と協定を結び、区役所と避難所の通信を支援しています。



【平林 泰之さん(緑区支部長)】

横浜市アマチュア無線非常通信協会 緑区支部は、非常時には電話などの通信網が使用できなくなることがあるため、アマチュア無線を通じて区役所と地域防災拠点、拠点同士の災害情報の伝達を行います。平常時には地域や拠点の運営訓練に参加して、拠点に配備されている無線機材の動作や欠品がないか点検を行っています。

現在、緑区には拠点が22か所ありますが、会員数は約50人。非常時に活動するにはまだまだ人数が足りません。緑区内でライセンスを生かして参加できる人は、ぜひ入会してください。入会を希望する人は、緑区役所の庶務係に連絡してください。お待ちしております。



◀無線を使用した訓練



▲訓練時の無線拠点

備えましょう

こんな取組をお勧めします

家族と発災時の連絡手段を確認しましょう。

●横浜市防災情報Eメールに登録しましょう

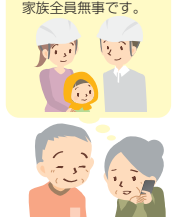
携帯電話やスマートフォンで、さまざまな防災情報をいち早く入手し、危険回避に役立てましょう。

横浜市Webで

横浜市防災情報Eメール 検索

<受信例>
 ■気象警報注意報情報
 ○月○日○時○分発表
 横浜市:大雨、洪水警報(発表)
 【コメント】神奈川県では、○日朝まで土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水に警戒してください。

○避難所にいます。家族全員無事です。



●「災害用伝言ダイヤル」を活用しましょう

家族の安否が不安。そんなものときには、知って安心「171」。171をダイヤルし、ガイダンスに沿って伝言を録音したり、聞いたりしてください。NTT東日本 災害用伝言ダイヤル <http://www.ntt-east.co.jp/saigai/>

「こども減災・防災塾」「防災講演会」を開催しました

緑区では、未来を担う子どもたちに対する防災啓発が重要であると考え、平成27年度から子どもたちに対する啓発事業に力を入れています。

27年8月~10月に実施した「こども防災・減災塾」では、非常時の持ち出し品を学んだり、紙食器を作ったりしました。また、中学校で防災講演会を開催して、「いざ」に備える防災力を高め、減災行動へとつなげています。

参加した子どもたちの声

【こども減災・防災塾】

- 非常時持ち出し品を家でそろえたい
- 学んだことをお母さんに教えてあげたい
- 教えてもらったことを実践していきたい

【防災講演会】

- 自宅に水・食料はあるけど、消火器を用意したり家具を固定したりする必要があると気づくことができた
- 中学生でも命を救えると知った。自分もそうなるように防災について考えたい



▲こども防災・減災塾



▲田奈中学校での防災講演会

防災講演会のお知らせ

「新しい防災の知識で大切な家族を守る」

災害時に大切な家族を守るため、家庭で実践できる防災の知恵や、家族で事前に備え、決めておくべきことなどを、生活者の視点から話します。

- ◆日時:3月19日(土) 14時30分~16時30分 (14時開場)
- ◆会場:みどりアートパーク
- ◆講師:国崎 信江さん (危機管理対策アドバイザー)
- ◆対象:当日先着330人



国崎 信江さん